

介護職員等特定処遇改善加算にかかる情報公開

	職場環境要件項目	当法人としての取組
資 質 の 向 上	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	文章および職員全体会議による法人年間方針の周知
	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	施設内外で開催される外部機関研修に、業務として参加してもらうことにより、職員の個人負担を低減しスキルアップを図る。
労 働 環 境 ・ 処 遇 の 改 善	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	事業内研修を設け職員全員に参加してもらう事や面接によるキャリア段位による人事考課を行う。
	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	託児施設の整備はないですが、育児や介護休業については、取りやすい環境を整備している。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	通常勤務が難しい職員に対し、短時間のシフトを設けているおり、一定条件を満たすことを条件とし、個人の勤務条件を尊重し、積極的に奨励している。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	有給休暇を取得しやすい環境を整備している。
そ の 他	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	ICT機器を導入し、職員の業務量の低減をおこない、利用者に対する安心・安全な環境を整備する。
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	職場間連携を密にし、多種問題解決に取り組み、業務を行いやすい職場環境を整備する。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域包括ケアに参加し、情報共有を行い、地域交流の場を設けている。